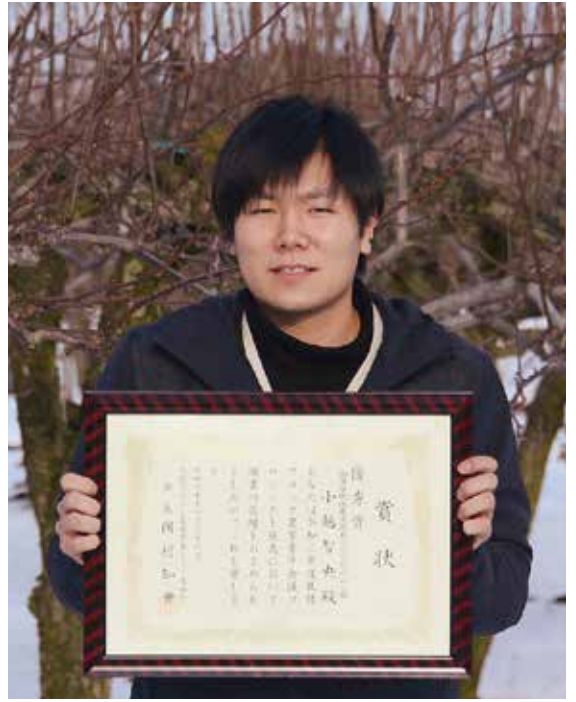


若手が変える、燕の農業

昨年11月に開催された全国農業青年交換大会北陸ブロックで、「農作業の超省力化」をテーマに取組事例のプレゼンを行った「どろんこ塾」。優秀賞に輝いた感想と農業の魅力について、プロジェクトの中心として発表者を務めた小越さんに伺いました。



小越 智央さん (佐渡)

【どろんこ塾 メンバー / 株式会社アグリシップ 社員】

● 全国農業青年交換大会北陸ブロック 優秀賞



▲ 蓄圧式の噴霧器を使って梨の受粉作業を行う小越さん。3月には東京で開催される全国大会でも研究成果の発表を行う予定です。

「日ごろの農作業の中で、『こうあつたら良いな』と思うことを試行錯誤してきましたが、まさか優秀賞をいただけるとは思いませんでした」
 小越さんは、若手農家で結成された「どろんこ塾」の一員として活動中。一昨年から梨の受粉作業の省力化を図るプロジェクトが始動し、2年にわたり作業と分析を繰り返してきました。

「これまで果樹栽培では、受粉作業が収量や品質に大きな影響を与えるため、花一つひとつに手で花粉を付けていました。今回の研究では、花粉を溶液に溶かし、蓄圧式の噴霧器で散布する受粉方法を試みることで、発芽率を下げずに作業時間はこれまでの8割減という大幅な短縮が可能となりました。多様な品種への対応

や着果率の向上など課題はありますが、検証を重ね実用化を目指していきたいです」
 日々農業と向き合い、新たな挑戦を続ける小越さん。その原動力は、たつてシンプルなものだと言います。「とにかく毎日が楽しいです。作物は毎年同じ作業を繰り返しても同じようには育ちません。気候や少しの環境の変化にも気を配る。もちろん躓くこともありませんが、その度に新たな学びが得られることも農業の醍醐味です」
 今後も楽しみながら農業を変えていきたいと意気込みます。

「若手農家もベテラン農家さんに負けじと頑張っています。ぜひ多くの皆さんから燕の農産物を手に取ってもらいたいですね」

※ どろんこ塾…県央地区で活躍する20～30代の若手農業者クラブ。プロジェクト活動のほか、研修会や交流会など現在13人で活動中。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



「天神講」の季節になりました。学問の神様・菅原道真公の命日2月25日に、色鮮やかなお菓子を提供え、学業成就や子どもたちの健やかな成長を願う風習です。

今年も市内の菓子店の協力を得て、道の駅国上や新幹線駅内の燕三条ウイングなどで「越後つばめの天神講菓子展」を行います。

既に受験生応援のため1月から販売していますが、これらが本番です。

鯛や梅、海老に招き猫などさまざまな種類があり、主役の天神様の表情もそれぞれのお店で違います。

皆さんのご家庭でも、天神講菓子をお供えして、春を呼び込みましょう。

燕市全エリアをご利用いただけるようになりました!

超高速光インターネット

NCT 光

インターネット + ケーブルテレビ + 固定電話

光300Mbps + 光おとく割キャンペーン

月額 **6,600円** (税込)

吉田 エリア お申し込み受付中!

インターネット・ケーブルテレビ・電話

エヌ・シー・ティ 0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)

※NHK受信料は含まれません。表記の価格は税率10%に基づく税込金額です。※各種キャンペーンの適用には条件がございます。

※上記時間以外・土日祝・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。

こちらは有料広告です。